総務省
Ministry of Internal Affairs and Communications

地域人材ネット

官民パートナーシップによる持続可能な地域づくり

石井 重成　（　いしい かずのり　）

青森大学社会学部　准教授

○ 登録者情報

所在地

青森県青森市

略歴

2009｜ 国際基督教大学教養学部　卒業
2009～2012｜コンサルティングファームにて、大手企業のBPRプロジェクトに従事　※
2012～2021｜釜石市役所にて、官民パートナーシップ事業や地方創生戦略を統括
2017～現在｜一般社団法人地域・人材共創機構を設立し、代表理事に就任
2017～現在｜内閣官房シェアリングエコノミー伝道師に登録
2018～現在｜総務省地域情報化アドバイザーに登録
2021～現在｜青森大学社会学部 准教授に就任
2021～現在｜観光庁「世界に誇る観光地を形成するためのDMO体制整備事業」専門人材に登録
2021～現在｜一般社団法人明和観光商社 共創フェローに就任
2021～現在｜東青地域移住・交流サポート協議会アドバイザーに就任
2021～現在｜ふくしま12市町村移住支援アドバイザーに就任

【委員会等】
2020｜東北経済産業局「創造的復興プロジェクトチーム」委員
2020｜環境省「地域循環共生圏プラットフォーム構築事業」アドバイザリー委員
2020｜復興庁「福島12市町村への移住・定住の促進等に関する調査事業」有識者会議委員
2020｜岩手県「若者活動支援チーム」委員
2021｜東北経済産業局「外部人材活用に向けた検討会」委員
2021｜環境省「地域循環共生圏プラットフォーム構築事業」アドバイザリー委員　等

著書・論文等

『Arts of Local Careerローカルキャリア白書2020』、2020
『Arts of Local Careerローカルキャリア白書』、2019
「ローカルキャリアの現在地」、全広連、2019
「持続可能なまちづくりを考える 地方創生、シェアリングエコノミー、SDGsを事例に」、技術と経済、2019
「「つながり」を生かした地域活性 Airbnb社との連携等を事例に」、地方議会人、2019
「釜石市における「つながり」を生かした地域活性　Airbnb 社との連携等を事例に」、都市問題、2018
「地方自治体におけるシェアリングエコノミーの取り組み」、NIBEN Frontier11、2018
「カタリストであれ。21世紀の公共性をつくろう」、東北復興新聞、2017
「復興と地方創生のあいだにあるもの オープンシティ釜石の戦略と実践」、国づくりと研修、2016
「復興課題の“本丸”とこれからの地域づくり」、地方自治職員研修、2016　等

○ 官民パートナーシップによる持続可能な地域づくり

取組の内容

コンサルティングファームを経て、東日本大震災を機に岩手県釜石市へ移住。分野横断型の官民連携組織を庁内に立ち上げ、市民との対話を通じた地方創生の戦略立案や、官民パートナシップを統括。半官半民の地域コーディネーター釜援隊、グローバル金融機関と連携したキャリア教育、広域連携による移住・創業支援、DMO・中間支援組織の設立支援、SDGsやシェアリングエコノミー活用等、人口減少時代の持続可能な地域づくりを推進。

2017年に一般社団法人地域・人材共創機構を設立し、『ローカルキャリア白書 −未来の働き方はここにある』を編纂。2021年より青森大学に拠点を移し、各地の地域イノベーション創発に参画。地方創生・震災復興・リーダーシップ等の講演多数。都市部企業・地方自治体・学術機関・非営利組織の越境経験に基づく、多様なセクター間連携やコレクティブインパクトの実装に強み。

【対象領域・キーワード】
官民パートナーシップ、地域ビジョン・戦略形成、市民協働、関係人口・移住定住、プロボノ・副業・インターンシップ、中間支援団体・DMO、次世代キャリア教育・高校魅力化、ローカルビジネス、ワーケーション、SDGs、シェアリングエコノミー、人材育成、越境学習、キャリアデザイン等

釜石市におけるSDGs推進

『ローカルキャリア白書』発刊記念イベント

実績

【釜石市におけるインパクト事例】
官民パートナーシップ創出件数　30件＋
プロフェッショナル人材の移住者数　100名＋
ローカルビジネス創出支援による売上高　4億円＋
地域DMOの売上高　3億円＋
“将来は釜石に戻りたい”と考える高校生の割合　15p＋
関連事業のメディア掲載数　100件＋　等

【関連事業による受賞歴等】
2017｜復興庁「新しい東北」復興功績顕彰（釜援隊協議会）
2017｜一般社団法人シェアリングエコノミー協会「シェアリングシティ」認定（釜石市）
2018｜復興庁「新しい東北」復興・創生顕彰（釜石〇〇会議実行委員会）
2018｜GSTC「世界の持続可能な観光地100選」選出（釜石市）
2021｜観光庁「第１３回観光庁長官表彰」（株式会社かまいしDMC）　等

工夫した点や苦労した点

□ 対峙するのではなく、横顔でコミュニケーションする
□「出島」と「本島」の良好な関係性をデザインする
□ 一歩先を見て、半歩後ろから伴走する
□ 偶然性を愛し、起きたことを意味づける
□ 人や地域の変容プロセスを味わいきる
□ 迷ったら、現場とファクトに立ち返る
□ 心の温度に従い、謝る勇気を持つ
□「出る杭ネットワーク」を育む　等

ひとことPR

「課題」は最大の「商品」です。①地域課題を分析・可視化し、②人材・資金・情報といった資源を呼び込み、③官民連携による課題解決を図っていくためのプロセス設計が重要です。多様な主体によるオープンイノベーション創発の可能性を一緒に探求していきましょう。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています（複数の分野に該当するものもあります）。

1.地域資源を活用した地域経済循環		2.まちなか再生	
	地場産品発掘・販路開拓		中心市街地活性化
○	6次産業化		空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
○	経営資源の引継（事業承継等）・起業支援		商店街活性化
○	地域中核企業等の支援		その他
	その他		
3.生活機能の維持		4.環境保全・SDGs	
	地域医療・福祉		分散型エネルギーシステム
	地域交通		地球温暖化対策
○	集落機能の確保		廃棄物・リサイクル対策
	その他		その他
5.防災減災・危機管理		6.観光振興・交流	
	建築物耐震化・長寿命化	○	DMOとの連携
	地区防災計画	○	インバウンド対応
	BCP	○	民泊・農泊
	避難所運営	○	地域おこし協力隊の推進
	感染症対策		その他
	その他		
7.関係人口の創出・拡大		8.移住・定住促進	
○	滞在・活動の場づくり	○	起業・事業承継等支援
○	地域おこし協力隊の推進		空地・空家対策
○	地域と関係人口の協働	○	地域おこし協力隊の推進
	その他		その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援		10.地域づくり人材の育成・教育	
○	結婚・出産・子育て支援	○	人材研修
○	働き方改革	○	ふるさと教育
	子どもの貧困対策	○	地域と教育機関の連携（高校魅力化・域学連携等）
	その他		その他
11．自治体経営イノベーション		12.シティプロモーション・地域PR	
	財政マネジメント（公共施設管理・公会計整備）	○	地域ブランディング
○	官民連携（PPP・PFI）	○	メディア活用策
○	自治体間連携		効果の把握・評価
○	住民参加		その他
○	EBPMに基づく政策立案		
	その他		

関連ホームページ

青森大学	https://www.aomori-u.ac.jp/%e6%95%99%e5%93%a1%e7%b4%b9%e4%bb%8b-%e7%a4%be%e4%bc%9a%e5%ad%a6%e9%83%a8/
一般社団法人地域・人材共創機構	https://careerfor.net/
インタビュー記事	https://3rd-door.net/2021/12/06/careermodel06/

連絡先

メールアドレス	ishii〔アットマーク〕aomori-u.ac.jp		

※メールを送る際には〔アットマーク〕を『@』に変えてください。